



LDR-TA165FU2/WM ハードウェアマニュアル for Macintosh

下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

製品の特徴

よくある質問 (Q&A)

使用上のご注意

使用環境について

対応メディアについて

ハードウェア仕様

ご使用の際のヒント

保証とサービスについて

PC電源連動機能について

製品の特徴

LDR-TA165FU2/WM は、DVD-RAM，1層 DVD+R，2層 DVD+R，DVD+RW，1層 DVD-R，2層 DVD-R，DVD-RW の各メディアへの書き込みに対応した USB 2.0 High-Speed、IEEE 1394 接続タイプの DVD-RAM ± R/RW (DVD スーパーマルチ) ドライブユニットです。

LDR-TA165FU2/WM は以下の「11 種類」のメディアを使用することができます。

メディア	対応速度	メディア	対応速度
DVD-RAM	5 倍速 書き換え	DVD- RW	6 倍速 書き換え
2 層 DVD+ R	8 倍速 書き込み	CD- R	40 倍速 書き込み
1 層 DVD+ R	16 倍速 書き込み	CD- RW	24 倍速 書き換え
DVD+ RW	8 倍速 書き換え	DVD- ROM	最大 16 倍速 読み込み
2 層 DVD- R	8 倍速 書き込み	CD- ROM	最大 40 倍速 読み込み
1 層 DVD- R	16 倍速 書き込み		

DVDメディア、CDメディアともに書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

パソコン環境や使用する DVD メディアによっては、16 倍速での書き込みができない場合があります。

DVD ビデオフォーマットで書き込んだ DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW メディアは、市販の DVD プレーヤーでの再生が可能です。

DVD ビデオ作成、PC データ保存のためのライティングソフトが添付されています。

2層 DVD+R メディアに対して「DVD ビデオ」として書き込みを行った場合、および「DVD-ROM 互換」の DVD を追記不可で書き込みを行った場合には、メディアタイプを「DVD+R DL」から「DVD-ROM」へと変更することにより、再生互換性をより高いものにしてあります。

DVD-RAM メディアは Mac OS 標準ドライバが認識し、Finder 上で「PC データ」の書き込みができます。フォーマットは、「ディスクユーティリティ」で行うことができます。Windows 環境との互換を取りたい場合は、「MS-DOS フォーマット」を選択することで「FAT32」によるフォーマットが行われます。Windows XP の環境であれば、そのままアクセスすることができます。

毎秒約 180 回のサンプリングを行なう「高速 ROPC(Running OPC)」を採用し、記録感度のムラを抑えた高品位な書き込みを実現。内周から外周までの間だけでなく、ディスクが 1 周する間の記録感度ムラにも対応しています。

放熱効果の優れた一体型アルミボディの採用により、冷却ファンが不要となり、待機時の静音性を実現しています。

フロント部にシャッターを装備することにより、DVD/CD メディアの高速回転による耳障りな風きり音など、耳障りな高温ノイズを低減しています。

注意事項

- ・ SuperDrive / コンボドライブ / DVD-ROM ドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVD ビデオの再生を行うことはできません。
- ・ USB 2.0 接続でご使用の場合は、1 層 DVD+R メディア / DVD-R メディアへの書き込みは 8 倍速に制限されます。
- ・ 本製品は DVD+R メディアへの書き込み・読み込みに対応したドライブを採用しておりますが、Mac OS X 10.2.8 以前の環境では、記録されたデータを読み込むことができません。
- ・ Macintosh 環境では、付属のライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」は、DVD メディアへの追記書き込みには対応しておりませんので、DVD メディアに追記書き込みすることはできません。
- ・ 市販されている DVD ビデオタイトルをバックアップすることはできません。

注意事項（続き）

- ・ 市販の DVD プレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW メディアに対応していないものもあります。本製品で作成した DVD ビデオが再生可能かどうかは、ご使用の DVD プレーヤーのマニュアルをご確認ください。
- ・ 著作権保護機能（CSS、CPPM、CPRM 等）やコピー防止機能（COPY CONTROL CD 等）が付加されているメディアは複製できません。
- ・ 本製品で作成する DVD ビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ 2 仕様のドライブであるため、本製品で再生できる DVD ビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・ DVD メディアにはラベル、シール等を貼付しないでください。偏重心を起こし、メディアが正常に読み込めなくなる場合があります。
- ・ 本製品はセルフパワー（電源コードからの電源供給）で動作します。バスパワー（FireWire または USB ポートからの電源供給）では動作しません。
- ・ Toast 6 Lite で作成する DVD ビデオには、登録できるタイトルは 2 つまでに制限されます。
- ・ Windows 環境などでフォーマットされた、UDF 2.0 の DVD-RAM メディアを読み込むことはできません。
- ・ DVD レコーダで録画した DVD-RAM メディアおよび、VR モードで録画された DVD-RW メディアを、読み込むことはできません。

使用上のご注意

ここでは製品の取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。
参照したい項目をクリックしてください。

接続の際の注意

メディアの取り扱いについて

DVD-RAM メディアについて

メディアのセットと取り出し

本製品の取り外しについて

接続の際の注意

本製品をコンピュータに接続する際は以下の点にご注意ください。

- ・ 本製品はハブ経由では接続しないでください。ハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・ 本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず AC アダプタのコンセントを接続してください。
- ・ 複数の FireWire 機器または USB 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・ 接続に使用するケーブルは必ず本製品付属のものにしてください。付属品以外のケーブルを使用した場合、まれに書き込みエラーなどが生じる場合があります。また、USB 接続でご使用になる場合、USB 1.1 対応ケーブルを使用すると書き込みエラーなどが多発します。

メディアの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

メディアの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のお願い

メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。

メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。

メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。

キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。

メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

メディアのドライブへのセット方法は「メディアのセットと取り出し」をご参照ください。

次のような場所には置かないでください。

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。

温度差の激しい場所。(結露が生じます)

DVD-RAM メディアについて

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAMは、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

- TYPE1** : カートリッジからメディアの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMディスクも市販されています。

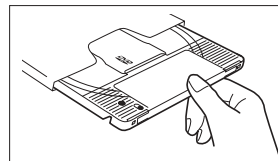
TYPE2、TYPE4 DVD-RAM メディアの取り扱い

次のような所には置かない

- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。
- 温度差の激しい所

取扱い上のお願

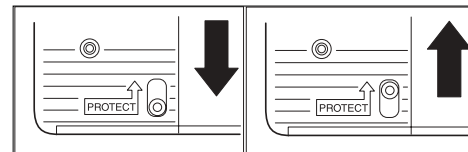
- メディア表面に触れない。
 - 落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。
 - はがしたラベルを再度貼らない。
 - 使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)
 - 定期的にバックアップ(データの複製)を行う。
 - 大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)
- ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。



図

書き込み可能

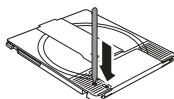
書き込み禁止



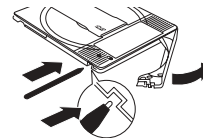
図

TYPE2 カートリッジからメディアを取り出す場合

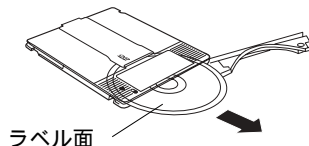
- 1** カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押しさえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのデザイン面とメディアのレーベル面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

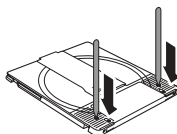
メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

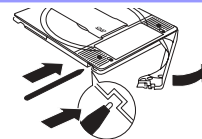
メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

TYPE4 カートリッジからメディアを取り出す場合

- 1** カートリッジのロックピン（2ヶ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



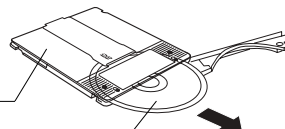
- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。

1. カートリッジ A 面と

2. SIDE A 面が同じ方向



メディアを収納するときは

カートリッジのA面とメディアのSIDE A面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

メディアのセットと取り出し

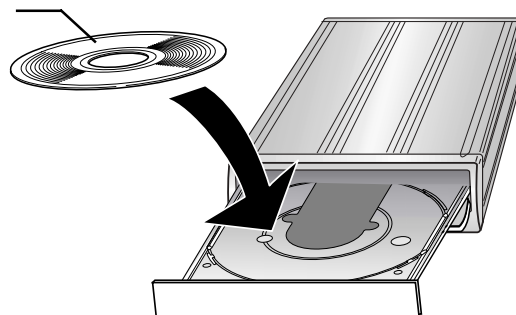
メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でタイトルなどが印刷されている面を上にして、トレイにセットしてください。

メディアを取り出す際は、デスクトップ上でマウントされているメディアのアイコンをゴミ箱()に重ねてください。

ゴミ箱のアイコンはメディアのアイコンを選択すると取り出しのアイコンに変化します。



タイトル面を上にし

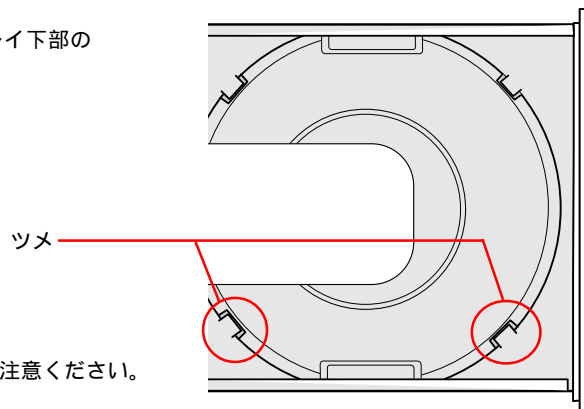


ご注意

- ・本製品でカートリッジ付きDVD-RAMメディアをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1のDVD-RAMメディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。



縦方向で設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

本製品の取り外しについて

本製品はインターフェースとして FireWire & USB を採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・ 書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・ DVD/CD メディアをマウントしている状態では取り外しを行わないでください。取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しおいてください。
- ・ 本製品や併用している FireWire 機器や USB 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。
- ・ パソコン本体がスリープ状態になっているときは取り外しを行わないでください。

対応メディアについて

LDR-TA165FU2/WM の対応するメディアは以下の通りです。

対応メディア (DVD-RAM)

容量	メディア対応速度	書き込み速度	読み込み速度
片面 4.7 GB 両面 9.4 GB	5 倍速対応 Ver. 2.2 / 5 X - SPEED DVD- RAM Revision 2.0	5 倍速	最大 5 倍速
	3 倍速対応 Ver. 2.1 / 3 X - SPEED DVD- RAM Revision 1.0	3 倍速	最大 5 倍速
	2 倍速対応 Ver. 2.1	2 倍速	最大 5 倍速
片面 2.6 GB	標準速対応 Ver. 1.0	-	標準速

Type1 の DVD-RAM メディアは使用できません。Type2、Type4 の DVD-RAM メディアはカートリッジから取り出してご使用ください。

対応メディア (DVD-RAM 以外)

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
2層 DVD+R	8.5 GB	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速	最大 8 倍速
1層 DVD+R	4.7 GB	16倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2.4倍速	最大 10 倍速
DVD+RW	4.7 GB	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速	最大 8 倍速
2層 DVD-R	8.5 GB	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2倍速	最大 8 倍速
1層 DVD-R	4.7 GB	16倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2倍速	最大 10 倍速
DVD-RW	4.7 GB	6倍速 / 4倍速 / 2倍速 / 標準速	最大 8 倍速
DVD-ROM 1層	4.7 GB	-	最大 16 倍速
DVD-ROM 2層	8.5 GB	-	最大 8 倍速
CD-R		40倍速 / 32倍速 / 16倍速 / 8倍速	最大 40 倍速
CD-RW		24倍速 / 10倍速 / 4倍速	最大 40 倍速
CD-ROM		-	最大 40 倍速

すべて FireWire 接続時の理論値です。

USB 2.0 接続でご使用の場合、1層 DVD+R メディア / 1層 DVD-R メディアへの書き込みは 8 倍速に制限されます。

DVD-RAM 以外のメディアへ書き込みを行う際、ドライブ側ではベリファイを行いません。データの書き込みを行った後は、念のため読み込みを行ってメディアに正しくデータが書き込まれていることをご確認ください。

ご注意

DVDメディア/CDメディアとも書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

DVD メディアにはラベルなどを貼り付けないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。

推奨メディアメーカー

メディア名	推奨メディアメーカー
DVD- RAM	日立マクセル株式会社、 松下電器産業株式会社
2層 DVD+ R	三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー
1層 DVD+ R	TDK株式会社、 太陽誘電株式会社、 日立マクセル株式会社 三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー
DVD+ RW (8 倍速書込み時)	株式会社リコー
DVD+ RW (4 倍速以下の書込み時)	三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー
2層 DVD- R	三菱化学メディア株式会社
1層 DVD- R (16 倍速書込み時)	太陽誘電株式会社、 TDK株式会社、 日立マクセル株式会社 三菱化学メディア株式会社
1層 DVD- R (8 倍速以下の書込み時)	ソニー株式会社、 太陽誘電株式会社、 TDK株式会社 日立マクセル株式会社、 富士写真フイルム株式会社、 三菱化学メディア株式会社
DVD- RW (6 倍速書込み時)	日本ビクター株式会社、 三菱化学メディア株式会社
DVD- RW (4 倍速以下の書込み時)	日本ビクター株式会社、 三菱化学メディア株式会社
CD- R	ソニー株式会社、 太陽誘電株式会社、 TDK株式会社 富士写真フイルム株式会社、 三菱化学メディア株式会社、 リコー株式会社
CD- RW (24 倍速書込み時)	三菱化学メディア株式会社
CD- RW (10 倍速書込み時)	三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー

ご使用の際のヒント

DVD ビデオを作成する場合

DVD ビデオを作成するには、映像素材の取り込み、オーサリング、メディアへの書き込みの順に作業を行う必要があります。

1. 映像素材の取り込み

DVカメラなどから映像素材をデータとして取り込むには、アップルコンピュータ社製ソフトウェア「iMovie」をご使用ください。

2. オーサリング、メディアへの書き込み

オーサリング（取り込んだ映像素材を並べ替えたり、効果を与える作業）から、書き込みまでは本製品に付属のソフトウェア「Toast 6 Lite」を使用していきます。

iDVD5で作成されたDVDビデオのディスクイメージをToast 6 Liteで書き込むことができます。

Toast 6 Liteの使い方については、Toast 6 Liteのクイックガイドをご参照ください。

データの書き込み（DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、CD-R、CD-RW）

データの書き込みは、本製品に付属のソフトウェア「Toast 6 Lite」を使用します。

「Toast 6 Lite」では、「データDVD」「データCDの作成」「オーディオCDの作成」「CDのバックアップ」を行うことができます。

Toast 6 Liteの使い方については、Toast 6 Liteのクイックガイドをご参照ください。

再生

DVD ビデオおよび音楽CDの再生は、アップルコンピュータ社純正のソフトウェアが使用可能です。

DVD プレーヤ : DVD ビデオ再生ソフトウェア

iTunes : 音楽CD再生ソフトウェア

SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。

Mac OS X 10.3.9以前のバージョンではiTunesを使って音楽CDの作成を行うことはできません。

DVD-RAM メディアのフォーマット（初期化）

DVD-RAM メディアをご使用になる場合は、以下の方法でフォーマットを行ってください。

フォーマット手順

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

本製品に DVD-RAM メディアをセットします。

その際、右のウィンドウが表示されることがありますので、「無視」ボタンをクリックしてください。

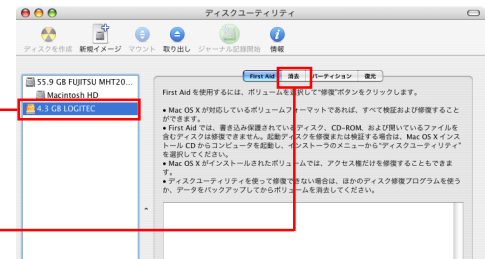


「無視」をクリック

ディスクの一覧に「4.3GB LOGITEC」が表示されますので、クリックして選択後、「消去」タブを選択してください。

1. 「4.3GB LOGITEC」

を選択



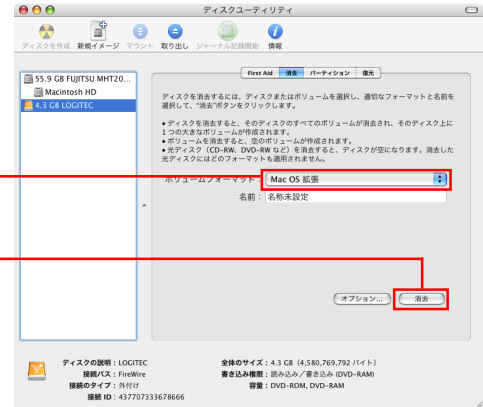
2. 「消去」タブを選択

ポリウムフォーマットで「Mac OS 拡張」を選択し、「消去」ボタンをクリックしてください。

1. 「Mac OS 拡張」を選択

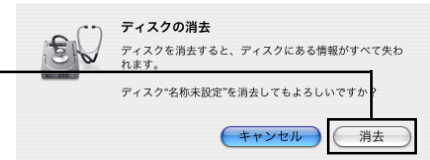
2. 「消去」をクリック

Windows とのデータ交換に使用する場合は、ポリウムフォーマットに「MS-DOS」を選択してください。ただし、「MS-DOS」フォーマットはMacintosh環境でご使用の場合、恒久的に使用する用途としては適していません。



確認のメッセージが表示されるので、再度「消去」ボタンをクリックしてください。

クリック



デスクトップに右のアイコンが表示されれば、フォーマット（初期化）は終了です。ディスクユーティリティを終了しておいてください。



PC 電源連動機能について

PC 電源連動機能とは、接続先のパソコンの電源の ON/OFF に連動して、DVD ユニットの電源の ON/OFF が切り替わる機能のことです。いったん本製品の背面の電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源も ON/OFF されます。

LDR-TA165FU2/WM の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源スイッチ		
	AUTO 時	ON 時	OFF 時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常に ON	常に OFF
接続先のパソコンの電源をOFFにした時	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰した時	ON		
FireWire または USB ケーブルを外した時	OFF		
パソコンがシャットダウンしたとき	OFF		
パソコンがスリープや省電力モードになった時	OFF		

- ・ ご使用のパソコンの環境によっては、PC 電源連動機能が正常に機能しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチで ON/OFF を切り替えてください。
- ・ 省電力モードから復帰するときにシステムが不安定になるような場合には、パソコンの省電力機能を OFF に設定してください。
- ・ DVD ユニットを接続した状態でパソコンを起動する際、PC 電源連動機能により DVD ユニットの電源が ON/OFF を繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は必ず付属の AC アダプタを電源コンセントに接続してご使用ください。



ここでは DVD ユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

本製品がまったく認識されません。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

セットしたメディアが認識されません。

サスペンドモードから復帰できません。

DVD-RAM のアクセス時にエラーが発生します。

DVD メディアに追記書き込みできません。

メディアの書き込み時にエラーが多発します。

パソコン上で DVD ビデオが再生できません。

DVD-RAM に書き込みができません。

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできません。

DVD ユニットを使用して作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できないのですが？

Q >>>>

question

本製品がまったく認識されません。

A >>>>

answer

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？

本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

Q >>>>

question

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

A >>>>

answer

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

Q >>>>

question

セットしたメディアが認識されません。

A >>>>

answer

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

Q >>>

question

サスペンドモードから復帰できません。

A >>>

answer

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。省電力機能は OFF にしてご使用ください。

Q >>>

question

DVD-RAM のアクセス時にエラーが発生します。

A >>>

answer

DVD-RAM は汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってみてください。
メディアの不良も考えられます。別のメディアで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生する DVD-RAM のデータをバックアップして、フォーマットからやり直してください。

Q >>>

question

DVD メディアに追記書き込みできません。

A >>>

answer

Macintosh 環境でご使用の場合、付属のライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」は、DVD メディアへの追記書き込みには対応していませんので、DVD メディアに追記書き込みすることはできません。

Q >>>

question

メディアの書き込み時にエラーが多発します。

A >>>

answer

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」をご参照ください。

Q >>>

question

パソコン上で DVD ビデオが再生できません。

A >>>

answer

SuperDrive / コンボドライブ / DVD-ROM ドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVD ビデオの再生を行うことはできません。

リージョンコード「2」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。

DVD ビデオ再生用のソフトウェアはインストールしていますか？ 本製品には DVD 再生用のソフトウェアは付属してありません。DVD 再生用ソフトウェアがない場合、別途アップルコンピュータ社ホームページより入手していただく必要があります。

リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

Q >>>>

question

DVD-RAM に書き込みができません。

A >>>>

answer

正常にフォーマットされた DVD-RAM を使用していますか？

Q >>>>

question

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできません。

A >>>>

answer

そのメディアは DVD+R メディアではありませんか？ DVD+R メディアは Macintosh 環境では Mac OS X 10.3 以降でのみお使いになれます。

そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生できません。

Q >>>>

question

DVD ユニットを使用して作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できないのですが？

A >>>>

answer

市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各メディアに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明書などをご確認ください。

使用環境について

FireWire ポートに接続する場合

パソコン本体

アップルコンピュータ社

Mac mini	iMac G5
iMac (Flat Panel)	iBook G4
iBook (Dual USB 以降)	
Power Mac G5	Power Mac G4 (AGP Graphics 以降)
Power Mac G4 Cube、 eMac	PowerBook G4 eMac G4

Power Mac G4 (PCI Graphics) は未対応です。
SuperDrive/ コンボドライブ/DVD-ROM ドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.2 以降

全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。
DVD+R メディアの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。
ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定は OFF にしてご使用ください。

USB ポートに接続する場合

パソコン本体

アップルコンピュータ社

Mac mini	iMac G5	iMac (USB 2.0)
eMac (USB 2.0)	eMacG4	Power Mac G5
iBook G4	Power Mac G4	Power Macintosh G3 (Blue & White)
PoweBook G4		

Power Mac G4、Power Macintosh G3 (Blue & White) の場合、USB 2.0 High-Speed での動作には、USB 2.0 High-Speed 対応のインターフェースボードまたはインターフェースカードの増設が必要です。
SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROM ドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.2 以降

DVD+R メディアの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。
USB 1.1 ポートへの接続はできません。
全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。
ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定は OFF にしてご使用ください。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - TA165FU2
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
インターフェース		IEEE 1394a - 2000 USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)
コネクタ形状		IEEE 1394コネクタ 6ピン × 1 IEEE 1394コネクタ 4ピン × 1 USB シリーズ B
ドライブメーカー		ティアック株式会社
書き込み 速度 *1 *2	DVD-RAM *3 *4	5倍速
	DVD+R 2層	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD+R 1層	16倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD+RW	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD-R 2層	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2倍速
	DVD-R 1層	16倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2倍速
	DVD-RW	6倍速 / 4倍速 / 2倍速 / 標準速
	CD-R	40倍速 / 32倍速 / 16倍速 / 8倍速
	Ultra Speed タイプ CD-RW High Speed タイプ CD-RW	24倍速 / 10倍速
	Multi Speed タイプ CD-RW	4倍速
読み込み 速度 *1	DVD-RAM Ver 2.2 *4	最大 5倍速
	DVD-RAM Ver 2.1 *4	最大 5倍速
	DVD-ROM (1層)	最大 16倍速
	DVD-ROM (2層)	最大 8倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り)	最大 8倍速
	DVD+R 2層、DVD-R 2層	最大 8倍速
	DVD+R 1層、DVD-R 1層	最大 10倍速
	DVD+RW、DVD-RW	最大 8倍速
	CD-ROM、CD-R、CD-RW	最大 40倍速
記録方式	DVD+R	Sequential write方式 Multi Session方式
	DVD-RAM DVD+RW	Random Write方式

- *1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。
 - *2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。
 - *3 5倍速での書き込みを行うためには5倍速対応のDVD-RAMメディア「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。
3倍速での書き込みを行うためには3倍速対応のDVD-RAMメディア「3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0または、5倍速対応のDVD-RAMメディア「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。
- 注：ver 1.0の2.6GB、5.2GBメディアは対応しておりません。
- *4 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは、使用できません。カートリッジから取り出して、使用してください。

記録方式	DVD-R	Disc at once方式	
		Incremental recording方式	
		Multi Border方式	
	DVD-RW	Disc at once方式	
		Restricted Overwriting方式	
		Incremental Recording方式	
CD-R CD-RW	Track at once方式 / Disc at once方式		
	Session at once方式 / Packet write方式		
記憶容量	DVD-RAM Ver 2.1 以降	片面ディスクで 4.7 GB 両面ディスクで 9.4 GB	
	DVD+R 2層 DVD-R 2層	片面ディスクで 8.5 GB 以下	
	DVD+R 1層 DVD+RW DVD-R 1層 DVD-RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
	CD-R CD-RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下	
平均アクセスタイム	DVD-RAM	270 ms	
	DVD-ROM	140 ms	
	CD-ROM	130 ms	
最大データ転送速度 (I/F) *5	IEEE 1394	400 Mbps	
	USB 2.0	480 Mbps	
DVD-ROM 関係	フェーズ	フェーズ 2	
	リージョンコード	2 (固定)	
環境条件 *6	動作時	CPRM	対応
		温度	10 ~ 35
	保管時	相対湿度	20 % ~ 80 %
		温度	- 10 ~ 50
相対湿度	10 % ~ 90 %		
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/60 Hz	
消費電力 (定格)		17 W *7	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		158 x 50 x 252 mm *8	
質量		1.5 kg *9	
設置方向		水平 / 垂直	

*5 理論値

*6 ただし、結露なきこと

*7 ACアダプタ含む

*8 横置き時、突起部を除く

*9 本体のみ

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、次ページの「サポート/修理受付窓口のご案内」をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）

テクニカルサポート連絡先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積り目の必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268 ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423 祝祭日を除く 月～金曜日

FAX：0265-74-1403 9:00～12:00、13:00～17:00

修理納期以外のお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。
弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。